

学校法人名古屋学院 2025 年度事業報告書

法人の概要

1887 年 7 月 愛知英語学校として創立
1887 年 9 月 名古屋英和学校に校名改称
1906 年 9 月 名古屋中学校に校名改称
1948 年 4 月 名古屋高等学校を設置
1968 年 4 月 名古屋学院中学校、名古屋学院高等学校に校名改称
2000 年 4 月 名古屋中学校、名古屋高等学校に校名改称
2010 年 4 月 新校舎竣工

生徒数(2025 年 5 月 1 日)

中 学 校 817 名
高等学校普通課程 1,414 名

中学校

学 年	収容定員	生徒数	学級数
1 年生	252 名	290 名	7
2 年生	252 名	269 名	7
3 年生	252 名	258 名	7
合 計	756 名	817 名	21

高等学校

学 年	収容定員	生徒数	学級数
1 年生	520 名	471 名	12
2 年生	520 名	455 名	12
3 年生	520 名	488 名	13
合 計	1,560 名	1,414 名	37

教職員数 (2025 年 5 月 1 日)

専任教育職員 121 名
専任事務職員 18 名

法人役員 理事 11 名、監事 2 名、評議員 25 名

(6 月 10 日開催の定時評議員会終結時まで)

理事 10 名、監事 2 名、評議員 13 名

(6 月 10 日開催の定時評議員会終結時以降)

理事会 年 11 回開催

5/15、5/27、6/10、9/25、10/9、11/18、1/13、2/19、2/26、3/5、3/17

評議員会 年 5 回開催

5/27、6/10、10/9、3/5、3/17

事業の概要

基本方針

建学の精神を教育の根幹に据え、歴史と伝統を継承発展させ、本校の特色教育を一層充実させるものとする。

教育事業

《全般的事業》

- ・ 各種式典や修養会、スキー実習、研修旅行、修学旅行、文化祭、体育祭などの学校行事は通常通り実施した。
- ・ 大学進学実績について現役・既卒生合わせて国公立大学合格者数は 195 名であった。東京大 1 名、京都大 9 名、大阪大 5 名、北海道大 8 名、名古屋大 21 名など、難関 10 国立大学に 62 名が合格した。また、国公立大学医学部医学科合格者は 14 名となった。

《教育条件整備》

- ・ 次年度に向けて教育職員 1 名・嘱託教員 9 名・事務職員 1 名・嘱託事務職員 1 名を新規に採用した。
- ・ 授業担当者全員へタブレット端末を貸与し、校務支援システム BLEND の活用など ICT 教育面での効率向上や、生徒家庭との連絡円滑化、紙使用の軽減を継続して推進した。
- ・ 学校カウンセラー 2 名、スクールソーシャルワーカー 1 名、スーパーバイザー 1 名及び本校養護教諭を中心として生徒の心のケアに当たった。また「いじめ不登校対策連絡会」を定期的に行い情報共有や具体的対処について意見交換を行い、学校全体で共有した。

《生徒募集広報活動》

- ・ 高校生徒募集における広報活動について、本校主催の学校説明会を実施した。また、学習塾訪問および公立中学校訪問は、愛知県全域及び岐阜と幅広く訪問して丁寧な説明に努め、学校ホームページ、Facebook、Instagram などの SNS を利用した広報活動も継続した。
- ・ 中学生徒募集においては、私立中学進学フェアや塾主催の合同相談会参加、学習塾訪問を中心に広報活動を行った。また、本校主催の学校説明会を実施した。

《入試政策・入試結果》

- ・ 中学 280 名 7 クラス、高校の外部募集 221 名 5 クラスとする入試政策を立案した。
- ・ 中学入試の総志願者は 1,531 名（昨年比-63）となった。近年の合格者数と登録人数を慎重に考え、かつ学力レベルが下がることのないように合格者を 805 名とした。最終的には 277 名の 7 クラス編制となった。
- ・ 高校入試は、推薦入試志願者が 241 名（昨年比+29）と増加、一般入試志願者数も 836 名（+57）と増加し、総志願者数は 1,077 名（+86）と昨年度の大幅減少（-332）から増加に転じた。

- ・推薦入試は一般入試の入学者数を考慮し合格率を昨年と同様に 61.1%と例年よりも低く設定した。一方、一般入試は推薦入試での入学者が増えたことから合格者を減らす必要があり、合格率は近年では最も低い 49.7%とした。結果、204 名が入学し、選抜 2 クラス、文理 3 クラスの計 5 クラス編制となった。

《進学指導》

- ・「敬神愛人」の精神を備えた紳士を育て、社会に貢献できる人財を育成することを目標としている。大学進学希望に応えるため、各学年がそれぞれ進学講座や進路を意識した取組を展開した。
- ・2025 年度の国公立大学の合格者数は現役生 137 名、既卒生 58 名の合計 195 名であった。（2024 年度：現役生 162 名、既卒生 43 名、合計 205 名）
- ・難関 10 国立大学の合格者数は現役生 47 名、既卒生 15 名の合計 62 名であった。（2024 年度：現役生 55 名、既卒生 12 名、合計 67 名）
- ・難関 14 私立大学の合格者数は現役生 419 名、既卒生 116 名の合計 535 名であった。（2024 年度：現役生 409 名、既卒生 87 名、合計 496 名）

主だった合格者数は以下の通りである。 ※括弧内は現役生の合格者数

【難関 10 国立大】

東京大学 1 名（0）、京都大学 9 名（6）、名古屋大学 21 名（16）
 大阪大学 5 名（5）、北海道大学 8 名（4）、東北大学 5 名（4）
 九州大学 1 名（1）、東京科学大学 2 名（2）、一橋大学 5 名（5）
 神戸大学 5 名（4）

【難関 14 私立大学】

早稲田大学 20 名（13）、慶応義塾大学 13 名（8）、上智大学 7 名（6）
 国際基督教大学 2 名（1）、立教大学 14 名（11）、明治大学 56 名（44）
 中央大学 51 名（46）、法政大学 22 名（17）、東京理科大学 54 名（44）
 青山学院大学 11 名（10）、同志社大学 63 名（47）、関西学院大学 43 名（34）
 立命館大学 117 名（84）、関西大学 21 名（17）

【医歯薬獣医学科の合格者内訳】

医学部医学科	国公立 14 名（9）	私立 55 名（31）
歯学部歯学科	国公立 1 名（0）	私立 6 名（5）
薬学部薬学科	国公立 1 名（0）	私立 27 名（15）
獣医学科	国公立 0 名（0）	私立 9 名（5）

《国際交流》

海外語学研修は、カナダの St. Michael' s University School、オーストラリアの Iona College で実施した。4 月と 11 月には Iona College からのターム留学生を受け入れ、1 月には本校生徒 2 名（中・高 1 名ずつ）が Iona College へターム留学した。

法人事業

《施設設備の概要》 ※括弧内は総工事費、工事規模順に抜粋

- ・校舎 LED 照明更新工事（6,985 万円）
- ・屋外 LED 照明改修工事（1,540 万円）
- ・照明制御設備センター装置取替工事（407 万円） ほか

《規則等の概要》

- ・給与規程、基本給給与表を改定し、教職員給与のベースアップを実施した。
- ・給与規程、諸手当を改定した。

《財務の概要》

- ・2025 年度の生徒一人当り入学時以外の納付金は以下のとおりとなった。
中学校 1・2・3 年 456,000 円（愛知県平均額約 476,856 円）
高等学校 1・2・3 年 456,000 円（愛知県平均額約 461,635 円）
- ・2025 年度の地方公共団体補助金は 926,794,370 円であった。その内、愛知県私立学校経常費補助金は 812,317,570 円（前年度比 6,216,058 円増）が交付され、生徒一人当りにして高等学校は 383,800 円、中学校は 331,400 円であった。前年度比増の主な原因は、光熱水費支援、及び生徒一人当り単価の増額によるものであった。他に愛知県私立高等学校等授業料軽減補助金 42,780,000 円、愛知県私立高等学校等入学納付金補助金 20,400,000 円、愛知県施設設備整備費補助金 28,416,000 円などが交付された。

《貸借対照表》

- ・貸借対照表は、資産の部、負債の部、純資産の部からなっており、毎会計年度末における財務状態を明らかにしたものである。
- ・2025 年度末における資産の部合計は 76 億 3,603 万円であった。負債の部の合計は 7 億 7,905 万円で、純資産の部の合計は 68 億 5,698 万円（前年度比 1 億 6,593 万円減）となった。

《事業活動収支計算書》

- ・事業活動収支計算書は、経常的な収支と臨時的な収支に分かれており、事業活動収入及び支出を明らかにしたものである。
- ・2025 年度の事業活動収入は 23 億 4,290 万円となった。一方、減価償却額を含む事業活動支出は 25 億 883 万円で、基本金組入前当年度収支差額は 1 億 6,593 万円の赤字。基本金組入額 1,387 万円をさらに引いた結果、当年度収支差額は 1 億 7,980 万円の赤字となった。

《資金収支計算書》

- ・資金収支計算書は、支払資金の収入、支出の顛末を明らかにしたものである。
- ・2025 年度の資金規模は 33 億 9,652 万円（前年度比 2,428 万円増）で、翌年度繰越支払資金は 11 億 4,086 万円（前年度末比 1,664 万円減）となった。

- ・減価償却引当特定資産として 1 億円、修繕引当特定資産として 3,000 万円の繰入を行った。
- ・退職給与引当特定資産から 4,300 万円を取崩し、退職金支払の一部に充てた。また修繕引当特定資産から 5,700 万円を取崩し、LED 照明工事の支払の一部に充てた。

《財政状況》

2025 年度主な収支

(単位：千円)

	科目	予算	決算	差異
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,112,170	1,093,417	18,753
	寄付金収入	50,000	54,630	△ 4,630
	補助金収入	921,950	929,346	△ 7,396
	事業収入	0	0	0
	その他	1,335,390	1,319,124	16,266
	収入の部 合計	3,419,510	3,396,517	22,993
支出の部	人件費支出	1,889,640	1,888,147	1,493
	教育研究・管理経費支出	445,670	414,309	31,361
	施設・設備関係支出	42,070	35,999	6,071
	その他	1,042,130	1,058,062	△ 15,932
	支出の部 合計	3,419,510	3,396,517	22,993

※収支の合計は、資金収支計算書の合計額と一致する。

※添付計算書類 貸借対照表、収支計算書

《その他》

●私立学校法の改正、寄附行為変更

私立学校法の改正に伴い 2025 年 4 月 1 日付で寄附行為を変更し、2025 年 6 月 10 日に開催した定時評議員会の終結をもって役員・評議員を改選した。

●名古屋中学校の学則（収容定員）変更の認可

2026 年 4 月より名古屋中学校の収容定員を 756 名から 840 名に変更する計画について、愛知県知事より 2025 年 12 月 24 日付の認可を受けた。

●敬愛寄付金の募集継続

5 月 1 日より第 3 期敬愛寄付金の募集を開始し、3 月末までに 42 件 263 万円の寄付を受け入れた。

●遺贈寄付の受入れ

本校卒業生のご親族より 500 万円の遺贈寄付を受けた。

●絵画の寄贈

本校卒業生の藪野健氏より、絵画 5 点の寄贈を受けた。

●タブレット端末の保護者負担額補助

昨年度に引き続き、補助対象条件に該当する家庭について、タブレット端末の保護者負担額の内、年間 5,000 円の補助を実施した。

※記載すべき特記事項がない為、事業報告書付属明細書の添付を省略する